

平成30年台風21号における内水排除について

内水排除操作により正蓮寺川、六軒家川内水位を 計画貯留水位以下に留め、市街地の浸水被害なし

台風21号の影響に伴い、高潮防御のため正蓮寺川水門及び六軒家川水門が閉鎖され、雨水等の流入水による河川水位上昇を抑えるため、高見機場（ポンプ場）から、正蓮寺川及び六軒家川河川水を淀川に排水する内水排除操作を行いました。

高見機場が受け持つ高潮対策流域（内水排除流域）では、平成30年9月4日10時頃から雨が降り始め、同日21時までに総雨量で39mm（高見機場雨量計）の降雨があり、高見機場から累計約14万m³の雨水等を淀川に排水しました。

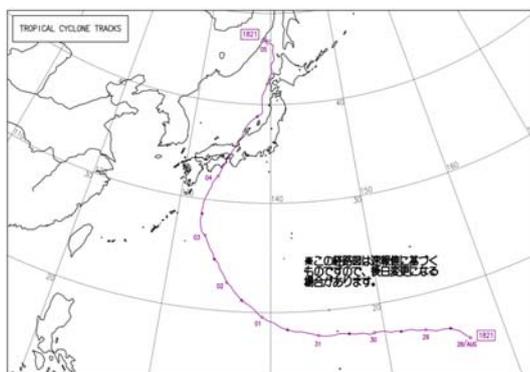
この操作により正蓮寺川、六軒家川内水位を計画貯留内水位（OP+3.50m）以下に留め、内水排除流域の浸水被害を食い止めることができました。

なお、内水排除時の外水位（淀川水位）としては、管理開始以降（昭和47年以降）最高水位（OP+5.09m）を記録しました。

※OPとは大阪湾と淀川における高さの基準です。

※今回の発表は速報値であり、今後の調査により数値等が変わる場合があります。

平成30年台風21号経路図

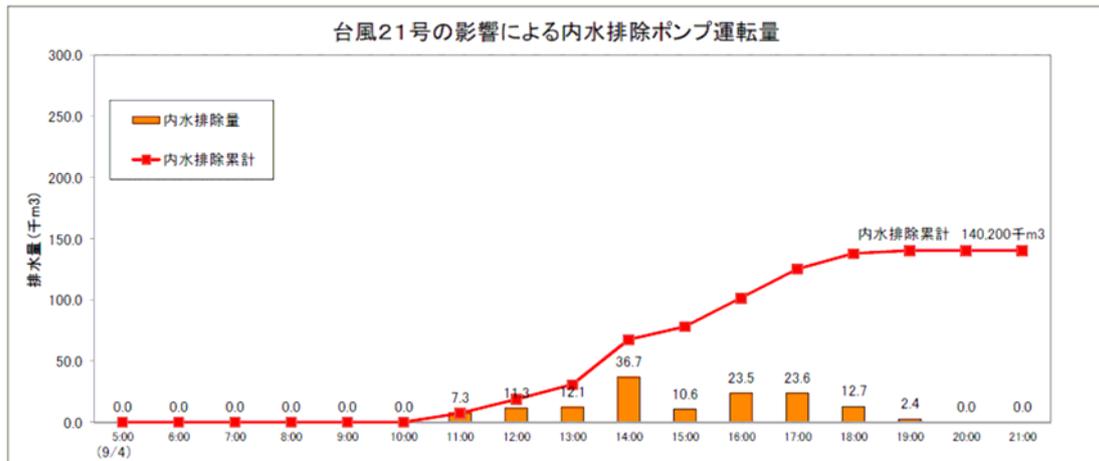
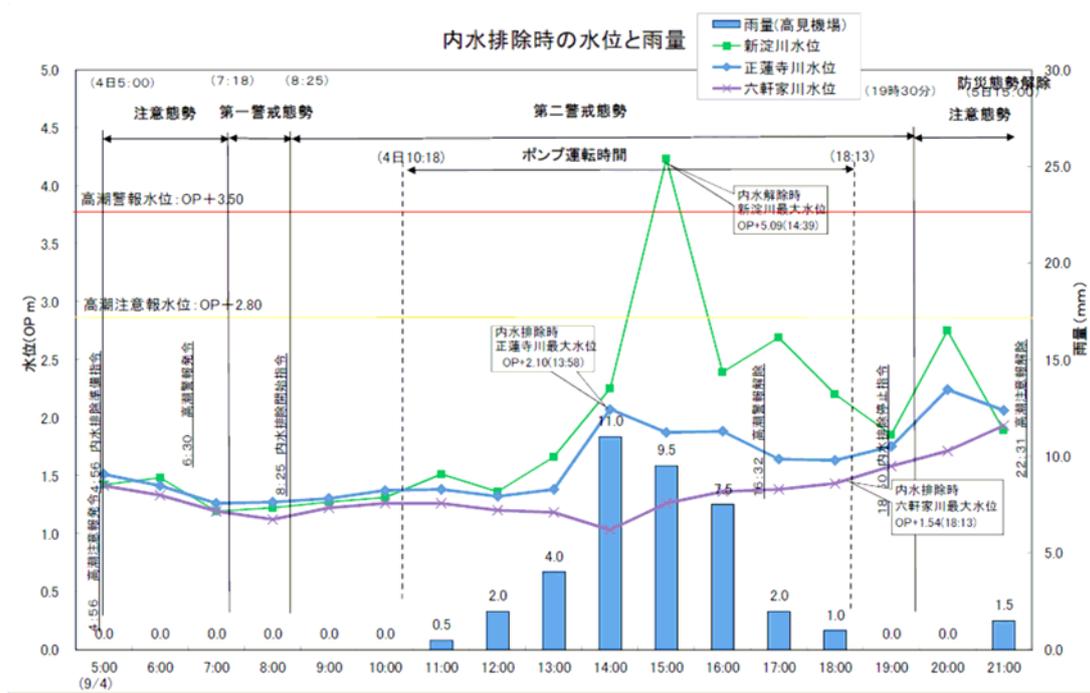


（出展：気象庁HP）

内水排除に関する施設位置図



台風21号の影響による内水排除実績グラフ



淀川外水位の比較（台風接近前、台風接近中）



台風接近前（4日7時30分頃）



台風接近中（4日14時15分頃）
（淀川最高水位時）

(参考)

【正蓮寺利水事業における高潮対策（内水排除）について】

大阪府の高潮対策の一環として、水資源機構が受託し下図(左)に示す流域（赤斜線）の市街地の内水排除を行っています。高潮時には、市街地への高潮による浸水を防ぐため、正蓮寺川、六軒家川の防潮水門が閉鎖され、流域に降った雨や下水処理水の排水は大阪市下水施設から正蓮寺川と六軒家川の防潮水門内に流入するため、流域内には内水が溜水し浸水被害が発生する恐れがあることから、この内水を高見機場から淀川に排水しています。高見機場は、通常時は淀川から正蓮寺川と六軒家川に最大 $22\text{m}^3/\text{s}$ の河川維持用水を分水していますが、高潮時等は、高見機場のゲートを下図（右）のように切り替え、正蓮寺川と六軒家川の内水を排水（計画排水量 $19\text{m}^3/\text{s}$ ）しています。

